

# 【2年生対象】R1 学問発見講座

2年生全員を対象とした進路行事として、「学問発見講座」が10月18日（金）午後を実施されました。これは、実際に大学の先生方に来ていただいて専門分野の講義や研究内容の紹介をしていただくことで、大学や学問についての理解を深めることを目的とした行事です。今年度は、次の12講座を開講しました。

講座をご担当いただいた先生方からは、「発問するとすぐに相談して考えていることから、非常に熱心な様子うかがえた」「自主的に準備をして講座に臨んでいる生徒がいて驚いた」など、大変あたたかいお言葉をいただきました。講師の中には藤島OBの方もおられ、OBならではの目線から、後輩に向けたメッセージを残していただきました。先生方には大変お忙しい中、前もって講義の準備を下さっており、感謝申し上げます。

本講座で学んだことを活かし、自分や家族のためだけでなく、世界中の人のため、そして日本の将来のために、日々の勉強に取り組み、卒業後の進路に向けて前向きに取り組んでほしいと考えています。

## 【講師一覧】

	学問領域	所属・職名
①	国際学	福井大学 国際地域学部 特任教授
②	社会学	新潟大学 人文学部 准教授
③	教育学	福井大学 教育学部 教授
④	法学	一橋大学 法学研究科 教授
⑤	経済学	関西学院大学 経済学部 教授
⑥	文学	大阪大学 文学研究科 教授
⑦	医学(循環器内科)	福井大学 医学部医学科 准教授
⑧	医学(外科)	福井大学 医学部医学科 講師
⑨	薬学	金沢大学 薬学類・創薬科学類 准教授
⑩	理学	大阪大学 理学研究科 講師
⑪	機械工学	東京大学 生産技術研究所 教授
⑫	建築学	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 教授

## 【各講座の様子】



## 【各講座の感想】

### ④ 法学；

**テーマ** 少年法適用年齢を18歳未満に引き下げるべきか

社会における重大な問題を扱う際、対立する意見が存在するのは当然で、両者の言い分を分かった上で論理的に主張することが大事だと分かった。先生は、少年法適用年齢を引き上げるべきだという意見は、一見もっともらしいことを言っているように見えるが、その根拠は過度に抽象化されており、精神的成熟が早まったわけではない、と主張されていた。先生は相手の立場を正しく聞き理解し、自分の意見を論理的に述べておられた。先生の意見がなぜ説得力を持つのか、実感した。

法学とは、こういった論理性に支えられた本当のコミュニケーション力を付けるために法を学ぶ勉強だと聞き、ますます法学部に行きたくなった。こんなに面白い授業が毎回受けられるのかと思うと、早く大学に行きたくて仕方がない。

⑥ 文学；

**講座名** フィクションの話し言葉と物語の構造～「千と千尋の神隠し」を例に～

物語の主人公となる者は、平凡の中の平凡、しかもどちらかというと弱い一面を持つ人が多い。そういった人物がミッションを与えられて、助力者を得て、試練に立ち向かっていくストーリーは、人間の”自立”にあたる。失敗もあるけれど、信念を持ってゴールに進む主人公を見てると、自分の気持ちもなんだか晴れやかになったり、前向きになったりする気がする。ジブリやドラえもんなどの日本の名作たちも、唯面白いだけでなく、何か人生の教訓になるようなメッセージを世界の人たちに携える役割を果たしているのかもしれない。だから、役割語と構造の探究は、新しい物語の世界観を見せてくれるようで素晴らしいと思った。

⑧ 医学

**講座名** 素晴らしき team との出会い。Art である外科手術とは！

今日の講座では、動画やドラマを見たり、実際に体験させていただいたりして、分かりやすく、楽しく、医者の素晴らしさや難しさを知ることができました。医者は理系的な力だけではなく、患者さんとコミュニケーションをとるための文系的な力も必要だと知って、改めて凄いと感心しました。医療に関する仕事にとっても興味を持ってました。

⑨ 薬学

**講座名** 新しいマラリアワクチンの開発に向けた挑戦

日本で生きている私達にとっては身近でないマラリアだけど、毎年 2 億人がこの病気にかかっているという。伊従先生はこの人たち皆を救う！という強い思いを持って研究を行われていることが伝わってきた。マラリアの患者を救う手段として、ワクチンに目を向ける視点、これがあたら良いなという視点が、研究においては必要であり、それを実現する場が大学・企業なのだろうと強く感じた。「大学は研究者を養成する場」という言葉がとても印象深い。私は薬学の分野に進む意思がありながらも、将来の自分の像をあまりはっきり描けていないことが分かった。どんな人を救いたい？薬だからできる事を考えて、“人の生活”を守れるような研究ができれば、と思った。大学に行くことは決してなんとなくではなく、自分のしたいことを実現するという事。研究者としてなりたい理想像を描きながら、自分がしたい挑戦への切符をつかめるよう頑張りたい。

⑫ 建築学

**講座名** 美しさ・機能性・安全性からなる建築

建築は環境への配慮や構造の安全性、美しさの3つの要素がある中で、今回は主に安全性の面からお話をしただけだった。質疑応答の際、「日本の建造物は梁や柱が太いので壊れるのも遅くなる」とおっしゃっているのを聞き、納得した。私が海外に行ったときに見た建物は、柱が細く、梁も全然見えなかったのを思い出した。日本には梁がむき出しになっている建物が多いと感じていたが、それは柱や梁が太いことと関係があるのか感想を書いている途中で気になり、今度調べてみようと思う。

私は文系だが、それでも建築という分野に携わることができるのか疑問に思っていた。しかし、誰でも色々な人が関われるということなので、とても勇気が出た。